

2021年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
221221058	栄養管理プロセス論 Nutritional management process theory	平井 あかり	○	専門	1	選択	2前期

科目の概要

傷病者や要介護者の栄養管理を行う上で、栄養アセスメントは必須である。栄養管理プロセス論では、初期アセスメントである身体計測の手技および評価法を学修し、管理栄養士に必要な専門知識・技能を身に付ける。担当教員は管理栄養士として病院に務め、栄養指導や栄養・給食管理業務の経験がある。病院での臨床経験を生かした講義を行う。

学修内容	到達目標
① 栄養ケアマネジメントの一連の流れを学修する。 ② 身体計測の手技を学修する。 ③ 身体計測の評価法を学修する。	① 栄養ケアマネジメントを理解することができる。 ② 身体計測を正しく実施することができる。 ③ 身体計測値の評価をすることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	授業内容を理解するために、教科書や参考書等を使って自己学修をする。予習や授業時間に疑問点を見つけ、自ら解決する。
	働きかけ力	
	実行力	計画を立てて予習や復習を遂行する。
考え抜く力	課題発見力	常に疑問点を探し、解らないことは教科書や参考書等を使い自己学修をする。
	計画力	
	創造力	予習や復習、レポートに取り組む際、あらゆる視点から物事を考え創造しながら実施する。
チームで働く力	発信力	個人の考えを、グループやクラス全体に分かり易く説明する。
	傾聴力	講義やグループワークで他者の意見を傾聴する。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。提出物は期限内に提出することができる。授業後テストの復習に授業後すぐに取り組める。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：エッセンシャル 臨床栄養学 第8版 佐藤和人 本間健 小松龍史編 医歯薬出版
ワークシート：予習及び復習用の課題プリントを配布する。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「栄養管理プロセス論」は専門分野の応用栄養学分野の科目の一部であり、基礎栄養学Ⅰで獲得した知識・技術を活用する。また、「栄養管理プロセス論」は、その後に履修する「応用栄養学Ⅱ」「栄養教育論Ⅰ」「臨床栄養学Ⅰ」「公衆栄養学Ⅰ」の基盤となる科目である。

資格との関連：管理栄養士 栄養士

学修上の助言	受講生とのルール
「臨床栄養学Ⅰ」および「臨床医学」等の知識も必要となるため、これらの科目を十分に復習しておくこと。演習は、臨地実習に出る際の他に、管理栄養士の基本的な業務を遂行する上で必要なため、十分に意識を持って臨むこと。	予習と復習を必ず行い、提出物は期限内に提出すること。今後の臨地実習・就職に備え、実践を想定し、授業に取り組むことを望みます。質疑応答・レポート提出は、google classroomを使用することがあります。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	70	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学んだ基礎的な知識が身についているかで評価する。 ・特に授業中に説明したキーワードが理解できているかを確認する。 ・到達目標の①②③に対応して、社会人基礎力を含め、S：80%以上、A：80%、B：70%、C：60%、F：60%未満として総合的に判定します。 	
			②	✓		
			③	✓		
	平常評価	小テスト	10	①	✓	時間の後半に授業で小テストを実施し、点数を平均して判定する。 ① 授業内容を理解できているか確認。 ② 管理栄養士国家試験の過去問題から、授業に関連のある問題で出題する。
				②	✓	
				③	✓	
		レポート	10	①	✓	演習で行った課題をレポートとして提出し、評価に加える。対象者に見合った栄養ケア計画を根拠に沿って作成できているかを評価する。
				②	✓	
③				✓		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①			
			②			
	③					
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	主体性：教科書や参考書等を使って自己学修（予習や復習）することができる。 実行力：計画を立てて予習や復習を遂行することができる。対象者に沿った栄養ケアを考えることができる。 課題発見力：常に疑問点を探し、解らないことは教科書や参考書等を使い自己学修をすることができる。また、対象者の改善点や問題点を見極めることができる。 創造力：予習や復習、または栄養管理計画に取り組む際、あらゆる視点から物事を考え創造しながら実施することができる。 発信力：根拠に沿った栄養管理計画を作成し、他者に分かり易く説明することができる。 傾聴力：講義やグループワークで互他者の意見を傾聴することができる。 規律性：欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。提出物は期限内に提出することができる。授業後テストの復習に授業後すぐに取り組むことができる。	
			②	✓		
			③	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
栄養ケアマネジメントの流れを理解している。また、身体計測の方法を正しく理解し、的確に評価することができる。上記を筆記試験、レポートおよび社会人基礎力にて総合的に評価し、特に優れている場合をS（秀）、優れている場合をA（優）とする。	栄養ケアマネジメントの流れをほぼ理解している。また、身体計測の方法を理解し、評価することができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	栄養ケアマネジメント 栄養アセスメント① 栄養ケアマネジメント の概要とスクリーニン グおよびアセスメント 方法を学修する	講義 授業後テスト	栄養スクリーニングや アセスメントの方法を 覚える。	(予習)教科書p.371 ～375を読み、課題を 行う。 (復習)授業での疑問 点を調べる。授業後テ ストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	栄養アセスメント② 身体計測の方法を学修 する	講義 授業後テスト	身体計測の方法を覚え る。	(予習)教科書p388～ 390を読み、課題を行 う。 (復習)授業での疑問 点を調べる。授業後テ ストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	栄養アセスメント③ 身体計測の講義と演習 を行う	講義 演習	正しい身体計測の方法 を習得する。	(予習)身体計測の方 法を確認する。 (復習)身体計測の結 果をまとめておく。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	栄養アセスメント④ 身体計測の講義と演習 を行う	講義 演習	正しい身体計測の方法 を習得する。	(予習)身体計測の方 法を確認する。 (復習)身体計測の結 果をまとめておく。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	栄養アセスメント⑤ 身体計測値の評価法、 測定者の手技による違 いや被験者による違い を学修する。	講義 グループディスカッ ション	身体計測値の評価法、 測定者の手技による違 いや被験者による違い を理解する。	(予習)配布資料で身 体計測値の評価方法を 確認する。 (復習)授業内容をレ ポートとしてまとめ る。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	栄養アセスメント⑥ グループワークおよび 発表 5回目の内容を、グ ループごとにまとめ発 表する	講義 グループディスカッ ション	測定者の手技による違 いや被験者による違い を学び、測定方法のポ イントを理解する。	(予習)測定者の手技 による違いや被験者に よる違いをまとめる。 (復習)他の班の発表 内容を振り返り、レ ポートとしてまとめ る。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	栄養アセスメント⑦ 様々な体位で身体計測 の演習を行う	講義 演習	様々な体位での正しい 身体計測の方法を習得 する。	(予習)身体計測の方 法を確認する。 (復習)授業での疑問 点を調べ、講義ノート の内容を復習する。	180	主体性 実行力 課題発 見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力